食品衛生法施行規則の一部を改正する省令新旧対照条文

○食品衛生法施行規則（昭和二十三年厚生省令第二十三号）

（傍線の部分は改正部分）

改正後	改正前
<p>（乳幼児の接触により健康を損なうおそれのあるおもちゃ）</p> <p>第七十八条 法第六十二条第一項に規定するおもちゃは、次のとおりとする。</p> <p>一 乳幼児が口に接触することをその本質とするおもちゃ</p> <p>二 アクセサリーがん具（乳幼児がアクセサリーとして用いるがん具をいう。）、うつし絵、起き上がり、おめん、折り紙、がらがら、知育がん具（口に接触する可能性のあるものに限り、この号に掲げるものを除く。）、つみき、電話がん具、動物がん具、人形、粘土、乗物がん具、風船、ブロックがん具、ボール、ままごと用具</p> <p>三 前号のおもちゃと組み合わせて遊ぶおもちゃ</p>	<p>（乳幼児の接触により健康を損なうおそれのあるおもちゃ）</p> <p>第七十八条 法第六十二条第一項に規定するおもちゃは、次のとおりとする。</p> <p>一 紙、木、竹、ゴム、革、セルロイド、合成樹脂、金属又は陶製のもので、乳幼児が口に接触することをその本質とするおもちゃ</p> <p>二 ほかおすき</p> <p>三 うつし絵、折り紙、つみき</p> <p>四 次に掲げるおもちゃであつて、ゴム、合成樹脂又は金属製のもの 起き上がり、おめん、がらがら、電話がん具、動物がん具、人形、粘土、乗物がん具（ぜんまい式及び電動式のものを除く。）、風船、ブロックがん具、ボール、ままごと用具</p>